

伊奈氏一族の活躍

各地に広がる伊奈氏の名声

伊奈町の町名は、町域に陣屋を構え、農政・民政を中心に活躍した代官頭伊奈忠次の名に由来します。

伊奈忠次は、天正18年（1590）徳川家康の関東入国に伴い、小室・鴻巣に所領1万3千石を与えられ、翌19年小室郷丸山にあった無量寺閼伽井坊を移して、跡地に陣屋を築きます。（現伊奈氏屋敷跡）

伊奈氏は信濃国伊那の出で、忠次は三河国小島城主であった忠基の孫に当たります。本能寺の変を機に家康に仕え、五か国総検地などに力を発揮し、代官として信任を得ます。伊奈流（関東流）と呼ばれる治水灌漑技術や、備前検地などと呼ばれる伊奈氏の仕法は、このときに培われました。

関東入国後の忠次は、のち従五位下備前守、代官頭として、利根川流域の治水・利水工事と新田開発、検地の実施、中山道の整備など、徳川家の関東支配の基盤を築きました。なかでも、地域の発展に寄与した堤や用水は、備前堤、備

前堀など、忠次の遺徳を偲んだ名称で呼ばれて、今に伝わっています。

慶長15年（1610）忠次が死去すると遺領は嫡子忠政が継承します。次男忠治は代官として分家し、その後赤山陣屋（川口市）へと移り、幕府直轄領の支配にあたりました。

元和5年（1619）三代忠勝がわずか9歳で亡くなり、忠次直系は断絶し領地は没収されますが、忠次の偉大な功勞により、弟忠隆が旗本として小室郷一円を受継ぎました。一方、忠治の子孫は代々関東郡代として活躍し、特に、富士山大噴火や天明の大飢饉の際の尽力では、多くの人から慕われています。

時代を経ても伊奈氏が行った数々の実績は人々の心に刻まれ、関東各地に神社や頌徳碑などが建てられています。小室地域は忠隆の子孫が幕末まで支配し、昭和18年（1943）小室村と小針村の合併に際し、伊奈氏の名をとって「伊奈村」としました。

近隣の伊奈氏関係史跡

備前堤（桶川市）

元荒川と赤堀川の水を綾瀬川へ流さないよう堰き止めた堤防。伊奈忠次の見立てによって築かれ、伊奈町域は水害の心配がなくなったといわれます。



桶川市

内宿駅

羽貫駅

伊奈中央駅

志久駅

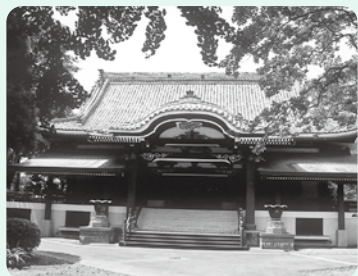
丸山駅

伊奈氏屋敷跡

蓮田市

明星院（桶川市）

忠次は無量寺閼伽井坊を明星院に移し、周辺に寺領を与えました。このとき出された忠次の文書は、明星院に伝わっています。無量寺はやがて小室に再建されますが、明星院住職が兼務しました。



伊奈熊蔵忠勝の墓（伊奈町 願成寺）

忠勝は僅か9歳で亡くなったため、勝願寺ではなく陣屋近くの願成寺に葬られました。墓域には一族の墓も建てられています。



町指定・記念物（史跡）



各地に広がる伊奈氏ゆかりの地



伊奈氏祖先の出身地伊那(長野県伊那市)

小室郷を支配した伊奈熊蔵家の系譜によれば、先祖は清和源氏源義家の流れを汲む足利氏支流で、信濃国伊奈(伊那)郡を本拠としましたが、忠次の曾祖父の代に三河国に移り住んだといわれています。



伊奈神社・備前堀(茨城県水戸市)

昭和10年(1935)に伊奈忠次の功績を称えて奉祀したものです。忠次が開削した水戸の備前堀は、周辺の村々の用水とする半面、千波湖の溢水による洪水の被害を防止する目的ももっていました。



埼玉県

伊奈町

小島城跡(入口碑) (愛知県西尾市)

忠次の祖父忠基の代から城主となりましたが、忠家のときに一向一揆に与して小島を追われました。



伊奈忠次墓(鴻巣市 勝願寺)



勝願寺には忠次の父忠家以下、多くの一族が葬られていましたが、現在は忠次・忠治両夫妻の墓のみが残っています。

県指定・記念物(史跡)

馬喰町郡代屋敷跡(東京都中央区)

伊奈家の江戸屋敷は、当初江戸城下の常盤橋御門内(千代田区)にありましたが、明暦の大火のあと関東郡代伊奈氏(忠治系)は馬喰町に替地を拝領しました。



伊奈氏屋敷跡(伊奈町)



県指定・記念物(史跡)

現在、伊奈氏屋敷跡の整備を計画しています。今後、町民の皆様には伊奈忠次や伊奈氏ゆかりの史跡等のご紹介をしたいと思います。どうぞ、ご期待ください。

習課内2543へ
図文化財については生涯学習課の「裏門跡」からは、戦国期の城館堀とみられる「障子堀」が発掘されています。

湿地帯の先に広がるこんもりとした森が伊奈氏屋敷跡です。ここには、中世以来の名刹無量寺閼伽井坊がありましたが、伊奈忠次は閼伽井坊を明星院(桶川市)に移し、その跡に陣屋を構え、ここを拠点に活動しました。この陣屋は小室陣屋、丸山陣屋等とも呼ばれています。